

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(JIPM)

－貴社の「保全水準評価」体制を構築するために－

専門診断員による『MOSMS®診断』のご提案

貴所の安全・安心・安定生産を実現するには、「保全経営力」を高める必要があります。そのために、経営ロス・リスクを低減する視点から、企業自らによる「保全水準評価」の仕組みづくりが不可欠です。

しかし、どのように評価したらよいのか、あるいは、評価してみたがこれで本当によいのだろうか、自ら取り組む際に、最初に悩むところです。

そこで、当会の専門診断員が、『保全水準評価プログラム』(5 段階評価基準)を活用し、貴事業所における技術力を含めた「保全のマネジメント力」を客観的・総合的に診断します。この支援メニューを『MOSMS 診断』としており、これにより、強みと弱みを見出して効果的に「計画保全の仕組み」を構築することができ、仕組みを維持・継続していくことが可能となります。

I 「保全水準評価」のねらい

1. まず「現状」を正確に把握する

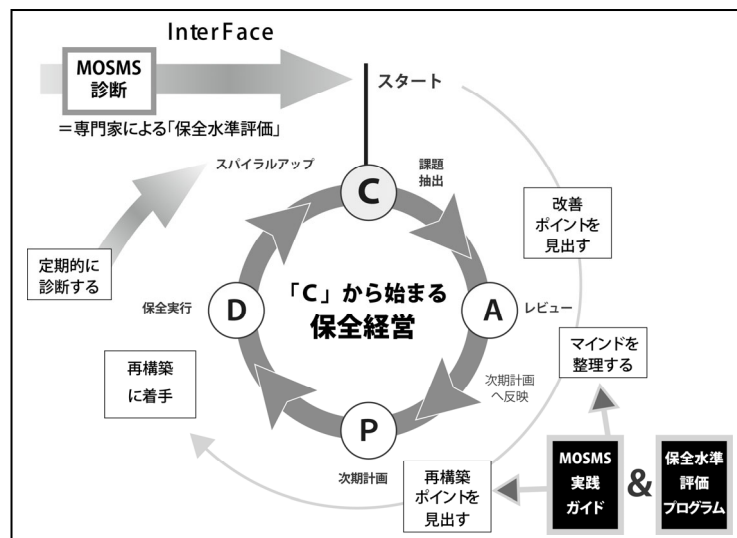
日本プラントメンテナンス協会は、計画主導で進める「保全経営」の仕組みとして、経営に資する「戦略的保全マネジメントシステム (MOSMS / Maintenance Optimum Strategic Management System)」を推奨しており、その代表的な仕組みを「計画保全」と呼んでいます。

この MOSMS は、「企業全体の最適化を図る保全の仕組みづくり」を目指し、経営と現場が一体となって管理サイクルが回り続けることをねらいとしています。

全体最適の「計画保全」を実行することは、「網羅的な保全」を、経営にとっての「重点付け」によって、もっとも「経済的」に行うことであるといえます。

このためには、日常業務の仕組みが、ムリなく継続できるものであることがポイントになります。

そのためには、客観的な目で現状を把握することが必要です。「現状の保全の仕組みの、どこに弱みがあるのか？」
－現状の正確な把握がすべての出発点になります。これを行うものが、「保全水準評価」になります。



2. 専門家による『MOSMS 診断』の特徴

『MOSMS 診断』は、実績のある専門診断員が貴事業所の「保全経営力」を「保全マネジメント力(仕組み力)」の観点から診断し、現在の課題を抽出することで「計画保全体制」の再構築をめざすものです。

また、この診断は最終的に貴事業所が自ら「保全水準評価」をするために行うものです。そこで、専門診断員は、貴事業所の評価責任者とともに診断を行います。

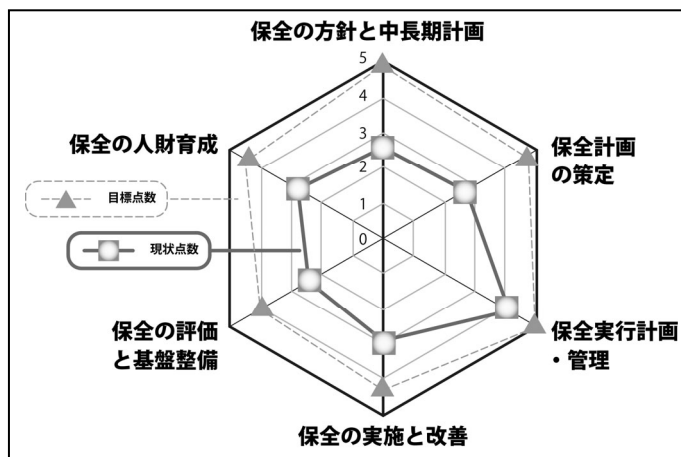
(1) “隠れた「課題」”を抽出するノウハウを伝授

JIPM が提供する『保全水準評価プログラム』(5 段階評価基準)を有効に活用し、現在の課題を抽出していきます。

そのためには、貴事業所に最適な目標値をどのように設定するか、そして課題をどのように導き出すかが重要となります。まさに、ベテランの知見が必要となるところです。

専門診断員は、「保全戦略」「保全計画」「保全の役割分担」「保全の実行管理」「保全成果」「保全人財」の 6 つの観点をベテランの知見から診断します。

また、『MOSMS 診断』は、導入のインタフェースとしてだけでなく、構築した仕組みが維持できているか客観的な目での定期診断にも用いることが効果的です。



(2) 貴所の評価責任者を育成する：『MOSMS 診断』の流れ

『MOSMS 診断』は、以下のようなフローで実施します。

- ① 診断対象のモデル工場を選定します
- ② モデル工場について『保全水準評価プログラム』の『5 段階評価基準エクセルフォーマット』を活用し
- ③ フォーマットに従って、**貴事業所評価責任者**(主任診断者)を中心に自己評価をしていただきます
- ④ 同じ項目で、**JIPM 専門診断員が、貴事業所評価責任者(主任診断者)*に同行する形でヒアリング調査を実施します**
*評価責任者(主任診断者)は、候補者で結構です
- ⑤ JIPM 専門診断員は、実地評価をしつつ、貴事業所評価責任者の自己評価に対して指導をします
- ⑥ JIPM 専門診断員は、評価結果レポートを提出します

このような一連の流れを通して、貴事業所評価責任者(主任診断者)は JIPM 専門診断員から体験的にノウハウが伝授されます。

(3) 「自己評価体制」構築の人材育成

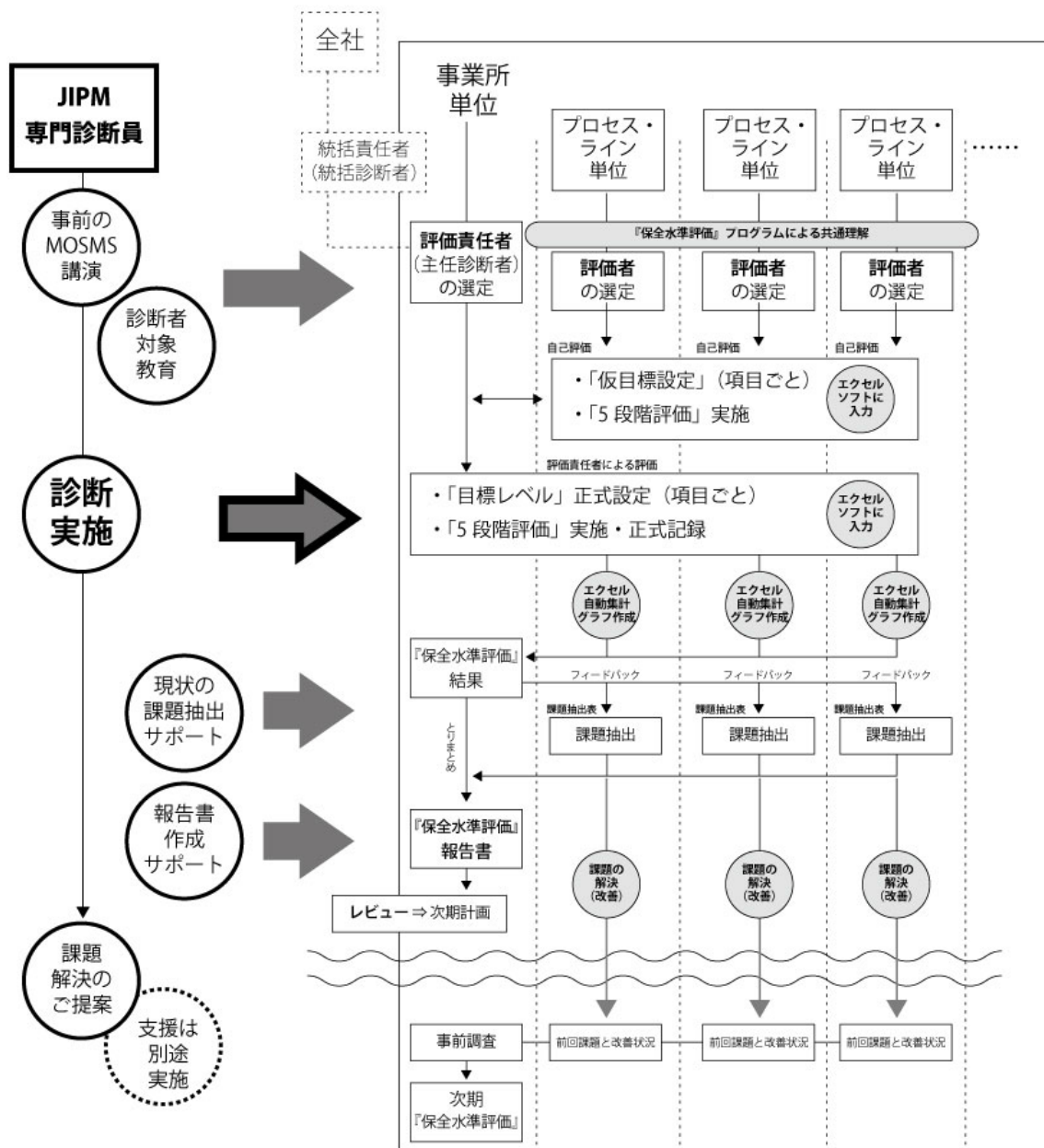
「保全水準評価」は、評価する側も評価される側も「何のために、何をめざして行うものか」を“納得”していないと意味を成しません。形だけのチェックではありません。

そこで、『MOSMS 診断』の実施前後に、「保全経営」および「保全水準評価」の意義についてのマインド整理や、貴事業所自ら「保全水準評価」を行っていく「自己評価体制構築」に向けた人材育成プログラムを実施します。

『MOSMS® 診断』と自己評価

『MOSMS® 診断』の流れ

貴所「保全水準評価」の流れ



Ⅱ 『MOSMS 診断』(保全水準評価)の内容

1. “ねらい”の共有と診断実施の流れ

(1)MOSMS の基本コンセプトの理解による“ねらい”の共有……キックオフ講習会の実施

『MOSMS 診断』(保全水準評価)を実施するモデル工場の経営層から現場管理者までの保全に関わる上位関係者が「保全経営とは何か」「保全水準評価とは何か」など、「MOSMS の基本コンセプト」を理解し、共通認識を持つために、『キックオフ講習会(意見交換を含む)』を診断に先立って実施します。

キックオフ講習会では、『MOSMS 実践ガイド』および『保全水準評価プログラム』をテキストとすることが標準的です。

なお、保全経営は「保全戦略」「保全計画」「保全実行」および「保全の人材育成」すべてを含んだ仕組みの構築です。したがって、参加者はトップから現場第一線管理者までのできるだけ多くの方のご参加が望ましいと考えます。この講習会と診断への参加が保全の仕組みを体系立てて見直すよい機会であり、引いては人材育成につながるものととらえています。

(2)『MOSMS 診断』(保全水準評価)

上記によって関係者が共通認識を持った後で、どのように全体最適の仕組みをつくっていくか、その切り口を見出すために『MOSMS 診断』(保全水準評価)を実施します。

『MOSMS 診断』(保全水準評価)によって見出された強みと弱みを客観的に分析します。

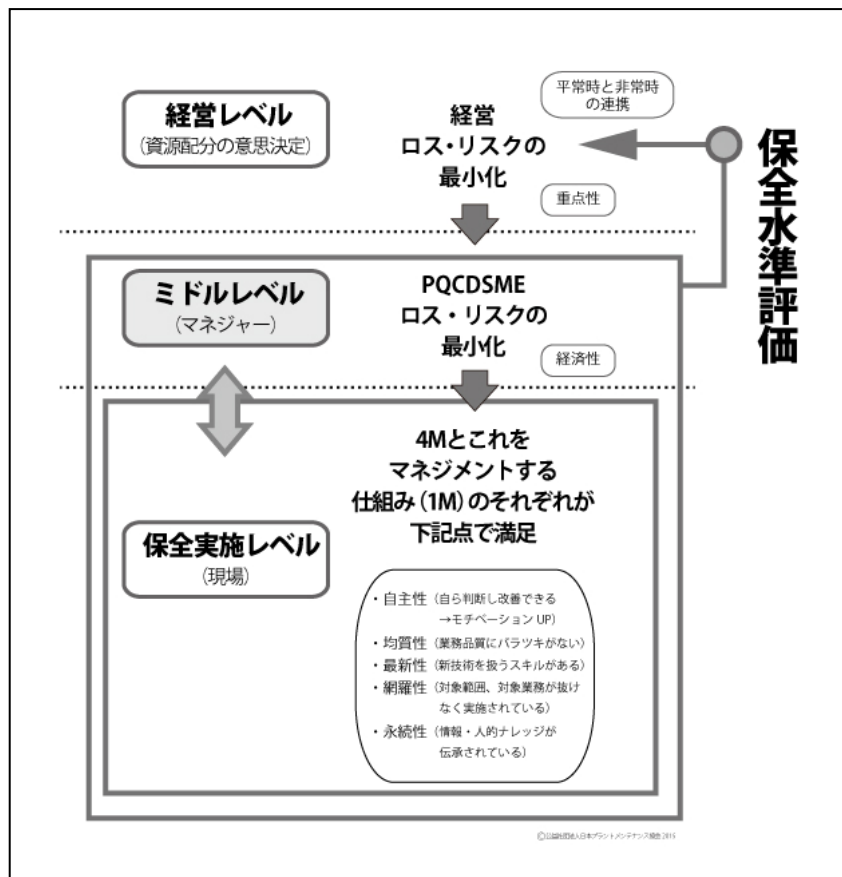
※『MOSMS 診断』(保全水準評価)の具体的な内容は、3. (2)項をご覧ください。

2. 『MOSMS 診断』(保全水準評価)の具体的な進め方

『MOSMS 診断』(保全水準評価)を実施するモデル工場(またはライン)を選定します。事業所全体を対象とすると、日数・工程とも膨大となるため、まずは、特定の工場やライン等に限定して実施することをお勧めします。

(1)「保全水準評価」の進め方

現状の保全水準を、「保全水準評価表」により分析します。この進め方は、3 段階になっています。



① 貴事業所診断員の育成講習会の実施

キックオフ講習会の後に、「自己診断のための仕組みづくり」(貴社診断員養成)のための講習会を実施します。診断対象となるモデル工場および今後社内で診断の中核となる貴社診断員を育成します。

「保全水準評価」と『MOSMS 診断』の視点を理解し、診断の進め方を理解していただきます。

② 自社での評価:自己評価

『保全水準評価プログラム』の『5 段階評価基準エクセルフォーマット』を活用して、貴工場を“簡単に”“率直に”自己評価いただきます。

③ 診断チームによる評価

『保全水準評価プログラム』の『5 段階評価基準エクセルフォーマット』を用いて、診断チーム(専門診断員および貴事業所主任診断者)がモデル工場の評価を行います(ヒアリングおよび実地検分)。

②-1 ご参加者(ヒアリング)

設備管理に関わる方々にヒアリングします。

(例)保全責任者、製造責任者、専門保全員、本社設備管理スタッフ

②-2 ヒアリング内容

ヒアリングの内容は、「保全水準評価フォーマット」に記載の通りです。

ご用意いただく資料のは、これを参考としてください。

「保全水準評価」は“ISO 監査”とは違います！

MOSMS の現状保全水準評価は、ISO 監査とは違います。つまり、「事前にたくさん準備をして臨む」ものではありません！

現状の「仕組み力」を評価しますから、普段着のまま、気軽に評価を受けていただきます。

ヒアリング資料も、「こういう資料はありますか」「はい」「では、お持ちください」という感じです。たとえばこのとき、非常に時間がかかって資料が出てきたとしますと、なぜそれだけ時間がかかったかを見えています。単に 5S ができているかどうかといった観点ではなく、本当にその資料が日ごろの仕事の中のサイクルに入っているかを見えています。

(2)「保全水準評価」による分析

現状の保全水準を、総合的に次の視点で分析します。

① 保全戦略の視点

- ・ 経営による保全方針を達成するために、保全水準評価やロス・リスク評価による現状評価を行い、適切な保全戦略が策定されているか(全社および事業所で見ると)
- ・ 保全戦略に有用な情報の確定および共有化プロセスの設定がされた情報マネジメントの維持・管理が良好に実行されているか

② 保全計画の視点

- ・ 生産性向上や経済性を加味し、網羅的かつ重点的・計画的な保全計画が経営の合意のもとに立案されているか
- ・ 保全計画策定・実行・評価のためのデータ管理の仕組みができているか

③ 保全実行:役割分担の視点

- ・ 保全計画に基づき、保全ナレッジを有する者を「司令塔」として役割分担がなされているか

④ 保全実行:保全実行管理の視点

- ・ 保全計画に基づき経済的で安全性の高い保全実行がなされているか
- ・ 日常業務の遂行の中で保全目標が達成される仕組みが織り込まれているか
- ・ 故障削減のサイクルができているか

⑤ 保全成果の視点

- ・ 保全活動が成果を生み出し、経営に貢献しているかを評価する指標が設定され、確実な成果をあげているか
- ・ 「保全データに基づく分析」が機能しているか

⑥ 保全人材の視点

- ・ 経営レベルで要員計画や技術伝承が議論され、保全関係者の職務内容やレベルに応じた教育計画が計画され、継続的に実行されているか

(3)診断結果(評価結果)の整理と簡易報告書の作成

「保全水準分析」の結果を、MOSMS(経営に資する保全マネジメントシステム)の観点から分析し、貴事業所における「保全のマネジメント力」の強み・弱みを見出し、今後の保全の仕組み改善のための課題抽出を支援します。

(4)「再構築した計画保全の仕組み」を維持継続するための「自己診断体制の仕組み」づくり

貴事業所診断員の育成講習を含めて、貴社内での「保全水準評価」の「自己診断体制の仕組み」づくりを支援します。

(5)診断員・指導員

実績のある JIPM 専門診断員が担当します。

3. MOSMS 診断(保全水準評価)の価格と概略スケジュール

MOSMS 診断(保全水準評価)の料金は下記の通りとなります。
下記料金とは別に、移動費・宿泊費は、都度実費が発生いたします。

(1)MOSMS の基本コンセプトの理解のための MOSMS キックオフ講習会の実施

MOSMS の基本コンセプトの理解による“ねらい”の共有が目的ですので、標準的には『MOSMS 実践ガイド』と「保全水準評価表」を手元に置きながら講習を進めていきます。

(2)「自己診断体制の仕組み」づくり

貴事業所診断員の育成講習を含めて、貴事業所内での「保全水準評価」の自己診断体制のしくみづくりをお手伝いします。診断員育成の教材は、専用の資料を使用いたします。

<価格>

(1)(2)は、続けて 1 日間で実施します

- ・ 実施価格 ……………385,000 円(消費税込)
- ・ 別途テキスト費用(1):『MOSMS 実践ガイド』実費頒布料金×出席者人数
- ・ 別途テキスト費用(2):『保全水準評価プログラム』実費頒布料金×必要数

(3)モデル対象工場の「モデル診断(保全水準評価)」の実施と診断指導

モデル対象工場を専門診断員 1 名が実地診断し、結果をレポートします。また、今後、貴事業所自らの自己診断を行うことを想定し、診断者に「保全水準評価」のあり方を指導いたします。

<価格>

- ・ 1,430,000 円(消費税込/1 事業所)

4. 個別契約の締結について

- ・ 『MOSMS 診断』は、当会と「MOSMS 構築の実証研究」としての契約締結に基づく形で実施いたします。
- ・ 『MOSMS 診断』は、当会の会員企業・事業所への支援サービスとなりますので、JIPM 会員ではない場合には、当会の会員(正会員または事業所会員)にご登録いただきます。

●『MOSMS 診断』の項目・費用とスケジュール一覧

	項目	貴社・貴事業所			JIPM専 門診断員 (および 指導員)	日程	備考	費用	テキスト等 別途費用
		本部	評価責任 者(主任 診断者)	評価者 (現場)				料金(税込)	
	0. 貴社とJIPMとの契約 書の締結	○					業務委託契約		
	1. モデル工場(ライン) の選定	○	○						
1日	2. キックオフ講習会の 実施	○	○	○	◎	1日	・設備だけでなく、生産、 運転・操業、安全関係者 など ・「保全水準評価」の具体 的教育 ・主任診断者および候補 生の育成	385,000円	・『MOSMS実践ガイ ド』8,800 × 参加人数
	3. 「自己診断体制」の 仕組みづくり育成講習 会	○	○	○	◎				・『保全水準評価プロ グラム』44,550 × 必 要人数
	4. 「モデル工場」の 自己評価実施	◎(取りま とめ)	○	◎		実態	・「保全水準評価プログラ ム」エクセル使用		
専門診 断: 2日	5. 「モデル工場」の『専 門診断』(1箇所)				◎		専門診断 ・診断は正確には1.5日が 目安です ・結果レポートは、約10日 程度のお時間をいただき ます * 診断箇所が増加する場 合は、1箇所あたり「5」項 に関わる費用で受診いた だけます	1,430,000円	・事前の「自己評価」 をもとに、JIPM専門 診断員が診断 ・現地でのヒアリング を主体とします
	・モデル工場の診断&診 断指導	△	○	○	◎	2日/1箇 所			
	・診断結果報告書ご提 出				◎				
ご参考	* 全員参加の「報告会」 を行う場合	○	○	○	◎	半日	ご希望の場合	(275,000円)	診断結果報告書の 内容と、今後のご提 案
	* 計画保全の支援				◎	1日	診断結果後のご提案と なります	(440,000円)	

- * 上記診断の実施単位は、サイト内 1 事業単位が基本的なイメージです(規模・状況によって変わります)。
- * JIPM 専門診断員は、1 名を標準としています。
- * 診断結果のレポートには、10 日程度のお時間をいただきます。
- * 貴事業所に訪問の都度、別途、移動費・宿泊費の実費を申し受けます。
- * 診断後の報告会(半日、費用 275,000 円(消費税込)、移動宿泊費別途)も別途ご相談にて承ります。
- * 診断後のプログラムづくり等の支援が必要な場合は、別途、ご相談ください。

【ご連絡／お問い合わせ】

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 企画管理・調査研究部

電子メール: rd@jipm.or.jp まで

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-3 神保町 SFⅢビル 5 階

Tel: 03-6865-6081 Fax: 03-6865-6082

JIPM WEB サイト:<http://www.jipm.or.jp/>

MOSMS 専用 Web サイト:<http://www.mosms.jp/>

MOSMS®は公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です